

# 薬用作物産地支援 栽培技術研修

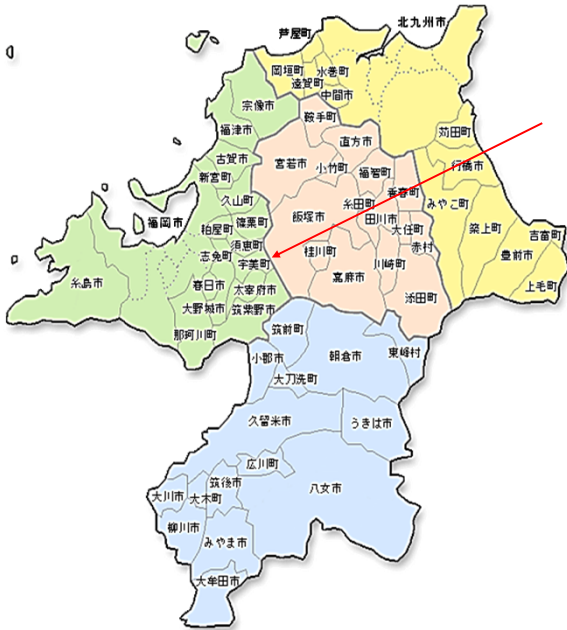
福岡県糟屋郡宇美町  
薬用作物生産部会

## 宇美町へようこそ ～宇美町のご紹介～



説明者  
宇美町環境農林課  
入江和美

## 宇美町とは①・・・位置と地勢



### 1. 宇美町の位置と地勢

宇美町は、福岡都市圏に属する糟屋郡の町で、西は大野城市と福岡市、北西は志免町、北は須恵町、東は飯塚市、南は太宰府市と筑紫野市にそれぞれ隣接しています。

地勢を見ると、東部は三郡山系、南部は四王寺山塊の大城山に囲まれており、町の面積（30.21km<sup>2</sup>）のおよそ6割を豊かな森林が占めています。

## 宇美町とは②・・・歴史とあゆみ



宇美八幡宮



大野城百間石垣



光正寺古墳

- 宇美町の歴史は古く、西暦665年に築城され、平成27(2015)年に1350年を迎えた日本最古の古代山城「国指定特別史跡 大野城跡」をはじめ、近年、魏志倭人伝に記事がある「不彌(ふみ)国」として本町が注目される根拠となった「国指定史跡 光正寺古墳」などの史跡が多くあります。また、古事記や日本書紀に、神功皇后が応神天皇を出産された地を「宇美(産み)」と呼ぶようになったという記述があるように、安産の神様として全国的に有名な宇美八幡宮があります。

- 明治21(1888)年に宇美村になり、大正9(1920)年10月に糟屋郡で最初に町制を施行し宇美町となりました
- 戦後しばらくは石炭産業が盛んになり、昭和33(1958)年には人口22,936人まで増加しましたが、石炭産業の衰退に伴い、昭和38(1963)年の三菱勝田鉱業所の閉山を境に炭鉱の町としての歴史に幕を閉じ、人口も2万人を割るまで減少します
- 昭和44(1969)年以降、道路整備が進むと、福岡市のベッドタウン、軽工業地域として人口が増加し、平成元年には3万人を突破しました
- 令和2年10月20日に町制施行100周年を迎え、次の100年に向けて歩み出しました

年次	世帯数	人口(人)		
		計	男	女
大正9年	2,585	11,979	6,188	5,791
大正14年	1,975	9,364	4,730	4,634
昭和10年	2,675	15,405	8,179	7,226
昭和20年	4,001	20,005	10,335	9,670
昭和30年	4,390	21,549	10,798	10,751
昭和40年	4,458	19,390	9,845	9,545
昭和50年	5,430	19,982	10,322	9,660
昭和60年	7,840	28,594	14,755	13,839
平成7年	10,614	36,728	18,486	18,242
平成17年	12,340	39,136	19,874	19,262
平成27年	13,119	37,927	19,098	18,829

令和4年9月末現在 人口 37,221人 世帯数 16,482世帯 住民基本台帳

平成27年度国勢調査

現在では、一本松公園(昭和の森)などの豊かな自然や宇美八幡宮・大野城跡などの歴史的・文化的資源を有しています。



一本松公園



河原谷の大つらら(難所ヶ滝)



## 宇美町の農業について ～現状と課題～

・宇美町の総面積は30.21km<sup>2</sup>であり、東部から南部にかけて筑紫野山系が取り囲んでおり町土の約60%が豊かな森林で形成された地域である

・土地利用型農業を中心に米を基幹に野菜を取り入れた複合経営が営まれている

・福岡市近郊（博多駅まで30分程度）にあるため都市化現象が進み、農地転用に伴う農地面積の減少、兼業化が進み、農業後継者の不足、高齢化等による経営規模縮小が進んでいる。また、山間地域において鳥獣被害が多く発生している

（宇美町は農業振興地域、市街化調整区域がない）

■農家数				(単位:戸)		
年次	総農家数	自給的農家	専業農家	兼業農家		
				総数	第1種	第2種
昭和55年	376	-	12	364	24	340
昭和60年	343	-	23	320	14	306
平成2年	306	100	14	192	16	176
平成7年	267	96	15	156	11	145
平成12年	254	96	21	137	6	131
平成17年	215	103	15	97	5	92
平成22年	197	102	18	77	3	74
平成27年	175	83	20	72	1	71

資料:農林業センサス

■経営耕地面積				(単位:ha)		
年次	経営耕地面積					
	総数	田	畑	樹園地		
昭和55年	200	178	17	5		
昭和60年	191	174	12	5		
平成2年	149	138	7	4		
平成7年	118	107	7	4		
平成12年	107	98	6	3		
平成17年	78	71	5	2		
平成22年	73	68	4	1		
平成27年	68	64	4	0		

資料:農林業センサス

# 薬用作物栽培について ～これまでの取組～



説明者  
宇美町薬用作物生産部会  
会長 藤木 匠

## 「薬草栽培」による農業所得向上及び地域活性化対策事業

障子岳農区で農地を守っていききたい → 法人化の検討

- 問題点 1  
(全体的)
- ① 水稲のみでの経営困難 (米価下落)
  - ② 現状の農業経営赤字
  - ③ 補助金の廃止 (米の生産調整)

- 問題点 2  
(中山間部)
- ① 担い手不足、高齢化による農地の荒廃化
  - ② 鳥獣被害による作付け意欲の減退
  - ③ 高齢者でも負担の少ない作物の検討
  - ④ 価格変動が少なく付加価値の高い作物



平成28年2月『薬草栽培』の政策を提案【環境農林課】

## 平成28年2月『薬草栽培』の政策を提案

- ・大学・研究所等打合せ
- ・薬草の種子入手ルート、栽培方法、販売先の模索

- ・製薬会社へ国産材料の提案

平成28年5月  
『薬草』の試験栽培開始

平成28年4月  
『化粧品原材料』の  
試験栽培開始

- ・ミシマサイコ、ヤマトトウキの試験栽培
- ・面積 2,000㎡程度

- ・4種類の薬用作物の栽培
- ・ヒュウガトウキの開発検討

平成28年11月  
薬草栽培を全町に拡大するため  
農区長会で提案

平成29年度  
化粧品の材料として納品

平成30年3月薬草  
を直接製薬会社、  
問屋へ販売

特産品及び6次  
産業化の検討

化粧品原材料の  
生産拡大

平成30年2月 宇美町薬用作物生産部会設立 (7農区25名 栽培面積4,000㎡)

- ①農業所得の向上 ②町の特産品 ③農地の有効利用促進 ④地域活性化

## 取組について ①農業所得向上



○平成28年4月 薬草の試験栽培開始 (場所：障子岳にて 参加者2名)



障子岳にて

障子岳にて

障子岳にて

障子岳にて

○平成29年2月15日 高草栽培希望者で試験栽培の取組を開始しました。(場所：早見のビニールハウスにて 参加者16名)



○平成29年5月 町内高草試験栽培の進捗状況です。

宇美町薬用作物試験栽培状況(各農区の取組)



原田農区 試験栽培圃場 井野農区 試験栽培圃場A 三原農区 試験栽培圃場



原田農区 試験栽培圃場近影 井野農区 試験栽培圃場B 上河原農区 試験栽培圃場

○平成30年2月 「宇美町薬用作物生産部会」の設立に向けた検討会が開かれました。(場所：役場会議室にて 参加者15名)  
○平成30年3月 町内で栽培された高草の初出荷の状況です。(高草名はミシマサイコです。)

第10回宇美町薬用作物試験栽培説明会実施状況写真(組織設立検討から出荷まで)



組織設立検討状況写真(平成30年2月)



高草の収穫荷写真①



高草の収穫荷写真②



高草の収穫荷写真③



高草の出荷前写真

○平成30年5月 「うみまちハーブ」の中の1つであるローズマリーが化粧品原料として製品が高格的になり、試験の取組が行われました。(場所：厚子会)



化粧品原料について差別化の取組実施



化粧品原料について差別化の取組実施

高草「ハルカ」の取組による「ハルカ」一歩



化粧品原料(厚子)一式の生産状況について



○平成30年10月 安定した栽培技術に向けて試験栽培の取組が続きます！（場所：炭焼）



ミシマサイコ試験栽培方法検討(H30.10.3)



ミシマサイコ試験栽培方法検討(H31.2.14)



ミシマサイコ試験栽培方法検討(H31.2.14)

○平成31年2月 今年度も薬草の出荷を行いました！数量は徐々に増加しています。



ミシマサイコ薬草出荷状況(様品、計測①)



ミシマサイコ薬草出荷状況(様品、計測②)



ミシマサイコ薬草出荷状況(受領書発行)

○令和3年7月 令和3年2月から申請を初めて5ヶ月後に「JASオーガニック認証」を取得しました！宇美町の農業分野では初の試みで、今後「うみまちハーブ」をブランド化し農業所得向上に繋がります。

## II JASマーク貼付のしくみ

認定を受けた事業者（以下「認定事業者」という）売付けJASマークを貼付することができます。  
認定事業者とは、農林水産大臣が登録された第三者機関である認証機関の審査を受け、薬草や品質管理等の状況が国の定める基準を満たしている事業者を意味します。  
製品にJASマークを貼付するには、JAS規格が制定されている品目については、その製品が該当のJAS規格に適合していること（適合）が必要です。



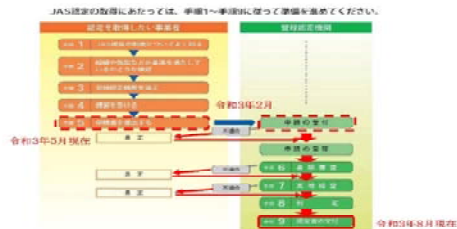
複写

認定書  
JASオーガニック認証  
日本農林規格等に関する法律に基づき、有機生産物と農産物に関する生産者等による認証の取組の推進に貢献している事と証明します。



申請者名：宇美町農産物生産者団体  
申請者住所：〒860-0001 宇美町大字宇美1-1-1  
申請者代表者：佐藤 隆夫  
認定基準：有機生産物と農産物に関する生産者等による認証の取組の推進に貢献している事と証明します。  
認定書番号：令和3年7月28日  
認定書発行日：令和3年7月28日  
認定書発行所：農林水産省 農産物検査部 認定課  
認定書発行所：農林水産省 農産物検査部 認定課

## III JAS認定取得の手順





# 取組について ②町の特産品

○平成30年10月 イベントに参加し「うみまちハーブ」をPRしてきました！



○平成30年10月 イベントに参加し「うみまちハーブ」をPRしてきました！



中東商業高等学校と生産者のふらshop

正産品展示台

町産「うみまちハーブ」のローズマリー苗木

○このおみかんは、中東商業高等学校産出割合と中東商業高校の生徒とのコラボ商品です。『うみまちハーブ』のヤマトウキが使用されています！(好評で当日完売しました！)



中東商業高等学校産品

中東商業高校と「うみまちハーブ」のコラボ商品

「うみまちハーブ」のローズマリー苗木

○平成31年11月 昨年度に引き続き町村フェアにてPRしてきました！



中東商業高等学校と生産者のふらshop



特産品「うみまちハーブ」のローズマリー苗木



町長、副町長と出店ブースにて



中東商業高等学校出品商品



中東商業高等学校と「うみまちハーブ」のコラボ商品



乗用車による出店ブース訪問



取材を受ける生産者

**うみまちハーブ**

**守美町の産の葉草**  
山の多い守美町には、耕作放棄された土地や山間部に面した豊かな自然環境が多くあり、守美町産の葉草の生産を推進し、守美町の豊かな土地を活かし、生産者の収入向上を図りたいと考えています。

守美町葉草生産者協議会  
代表者 橋本 匠  
TEL:090-4989-0343

三郎山の麓でオーガニックローズマリーなどを生産者みんなで大切に育てています。町のPRに繋がると、うみまちハーブの新商品開発に取り組んでいます。

**うみまちハーブ その1 ヤマトトウキ**  
ヤマトトウキは、セリ科の多年草でツヤのある深緑の葉と白い小さな花を咲かせます。根は生薬として漢方薬などに多用され、葉は食用として有効活用されています。

**その2 オーガニックローズマリー**  
「海のしずく」という意味を持つローズマリー。強いブルーの小さな花が海のしずくのように見える事に由来。インフルエンザや風邪の予防、頭痛等に効果があります。

**その3 ミシマサイコ**  
ミシマサイコは、セリ科の多年草で夏から秋にかけて小さな黄色の花を咲かせます。解熱、鎮痛作用のある薬草として漢方に利用されています。

◆部会の過去の取り組みについてはこちら

**うみまちハーブのアロマ商品**

守美町の産の葉草、アロマを上手に活用して、おうちで楽しむことができます。三郎山の麓で育てられた葉草は、自然の恵みを活かしたアロマ商品が、守美町の産の葉草の魅力を最大限に引き出しています。

抽出したアロマオイルを、エッセンスやアロマオイルとして活用しています。

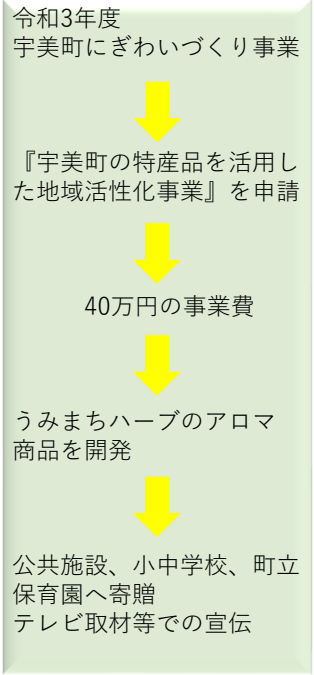
特産品のローズマリー、ヤマトトウキ、柑橘類、香葉深層水の河原のしずくを使用

アロマ商品開発の一例として、守美町の葉草の原料を活用し、アロマ商品を開発。三郎山を歩き自然を体感しながら調製しました。柑橘とローズマリーの爽やかな香りの中で、アロマオイルが入った深層水のある暮らしです。

アロマ商品開発の一例として、守美町の葉草の原料を活用し、アロマ商品を開発。三郎山を歩き自然を体感しながら調製しました。柑橘とローズマリーの爽やかな香りの中で、アロマオイルが入った深層水のある暮らしです。

アロマ商品開発の一例として、守美町の葉草の原料を活用し、アロマ商品を開発。三郎山を歩き自然を体感しながら調製しました。柑橘とローズマリーの爽やかな香りの中で、アロマオイルが入った深層水のある暮らしです。

アロマ商品開発の一例として、守美町の葉草の原料を活用し、アロマ商品を開発。三郎山を歩き自然を体感しながら調製しました。柑橘とローズマリーの爽やかな香りの中で、アロマオイルが入った深層水のある暮らしです。



**取組について ③農地の有効活用促進**

○令和2年10月 中山間部の荒廃した農地を薬草栽培で蘇られました！



- 令和3年3月 有機JAS認証取得に向けて役員会を実施しました。(参加者：7名)
- 令和3年3月 後日、部会員にも認証取得について説明会が開催されました！(参加者：15名)



役員会実施状況



部会員への説明会①



部会員への説明会②

- 令和3年3月 認証申請候補地を決めるために部会役員にて現地確認しました。(参加者5名)



圃場視地確認(神武原地区)



圃場視地確認(新田原地区)



取組圃場視地確認(新田原地区)

荒廃した認証候補地は、再生に向けた取組を始めています。

## 取組について ④地域活性化

宇美町薬用作物生産部会の思い・・・

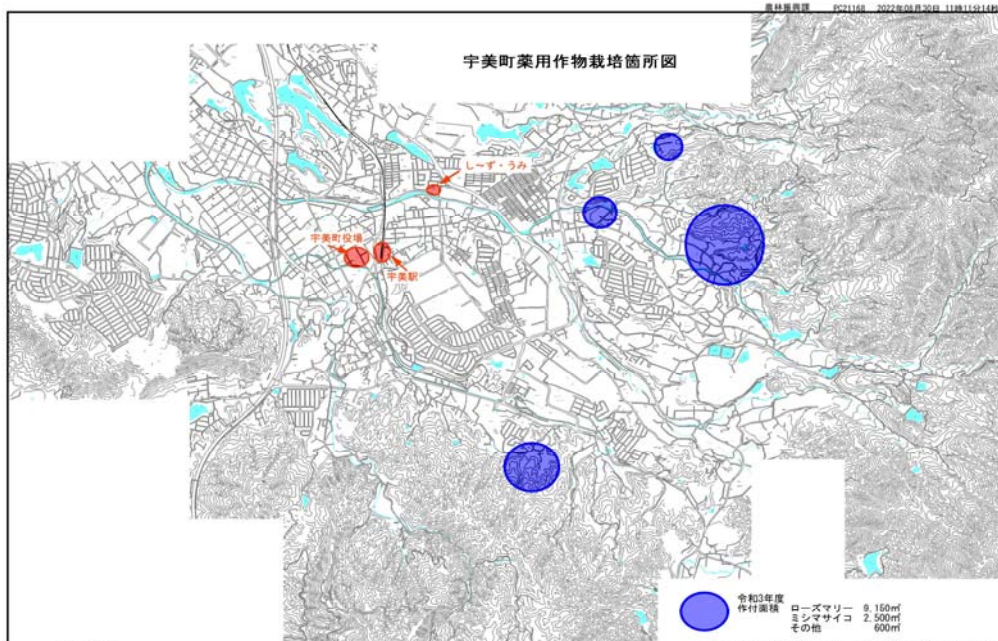
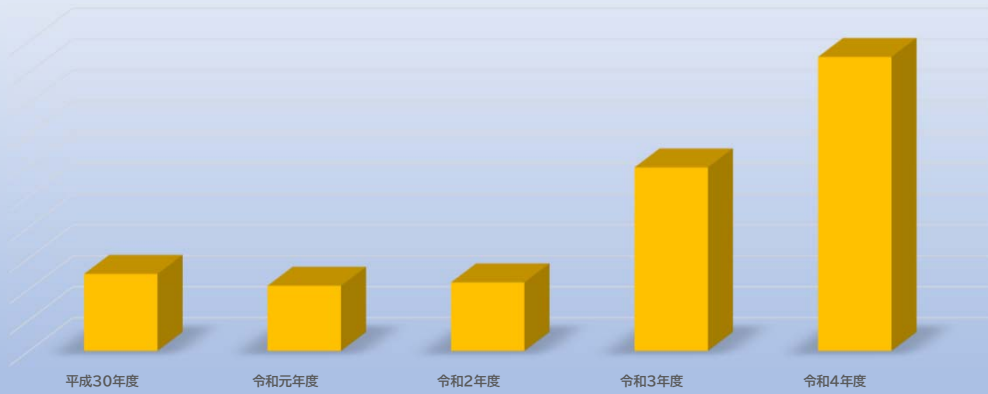
会長としての思い・・・





# 売上金の推移

売上金





ご清聴ありがとうございました

宇美町へまたお越しく下さい